

## 日本の面白さ！体験！感謝！

シャルマ ゴパル  
Sharma Gopal

私は、インドと中国の間にある国ネパールから留学生として日本に来ました。来日してすぐは、日本語が全く読み書きできないくらいのレベルでした。最初は福岡市内にある日本語学校に入り日本語の勉強を始め、新しい生活に慣れるまでアルバイトをしながら色々な分野に挑戦しました。ネパールと日本の物価が凄く違いがあるので日本の物価が高くて色々な挑戦ができる国であると思い、頑張り始めました。

私は日本に来て初めて自動販売機を見て驚きました。トイレの便座、綺麗な道路、公園などのトイレ、おにぎりや色々なコンビニを見ても夢だと思うぐらい面白いものでした。これらの経験は私の価値観に大きな影響を与えました。

日本語学校を卒業後、熊本市に移り、崇城大学工学部宇宙航空工学科に入学しました。入学して9日後、熊本地震を経験しました。最初に地震が起きた時は食事中でした。本震で、ガスと水道が止まってしまい、1週間程避難しながらボランティア活動を行いました。熊本に来たばかりで、熊本市内の情報が少ない中SNSなどを利用し、他の外国人に対してできることを率先して行いました。

私が、日本に来て最も考えさせられたのは、お互いの国の文化の違いについてです。私は日本に6年間滞在し、多くのことを学びました。その中でもお互いの国の文化の違いに当初はカルチャーショックを受けました。しかし、少しずつ日本の文化を知ることによってどんどん日本という国を好きに

なり、もっと日本の文化について知りたくなりました。その中でも特に私が感動したことは、日本には『礼に始まり礼に終わる』という素晴らしい文化があることです。この文化のお陰でお互いが気持ち良く交流することができ、更に何事にも感謝するということにも繋がるのだと気付きました。

ロータリー米山記念奨学生になった際、ロータリアンの方々から善意の気持ちを胸に国際的な活動をされていることに最も影響を受けました。私がこのように何不自由なく日本で生活し勉学に励んでいるのも、ロータリアンの方々による手厚い支援のお陰です。私も将来はロータリアンの方々のように国際的な活動を行い、今回私が日本に来た際にロータリアンの方々から温かい手を差し伸べて頂いたように、善意の気持ちで行動出来る人間になりたいと思いました。

私は熊本に来て本当によかったと思っています。今回を機に、私自身が6年間日本に滞在した、その経験を通して日本の文化の中で感動したこと、疑問に思ったこと、驚いたこと、そして私が気付いた日本とネパールの文化の違いについてのスピーチを行うことで、日本の皆さんに私達のような留学生から見た日本の文化の素晴らしい所、そして私の母国であるネパールについても知ってもらいたいです。また、母国に帰ってからは、日本で取り組んでいる研究内容や、毎日の生活を通して発見したこと、感じたことを活用したいと思っています。